



2010年8月3日

日産自動車株式会社
株式会社 大京

ルノー・日産アライアンスと大京 分譲済みマンションにおける電気自動車充電インフラに関する覚書を締結

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区 社長:カルロス ゴーン)と株式会社大京(本社:東京都渋谷区千駄ヶ谷 社長:山口 陽)は3日、低炭素・循環型社会の実現に向け、互いに連携して取り組んでいくことに合意し、同日覚書を締結しました。

低炭素社会を目指し、電気自動車(EV)の普及促進を進めるためには充電インフラの整備が欠かせません。中でも既に分譲されたマンションでの充電は、都市部でのEV普及にとって重要な課題と考えました。今回の覚書締結により、両社は『分譲済みマンション電気自動車充電インフラ 実証プロジェクト』を立ち上げ、この課題解決を図っていきます。あわせて、本実証プロジェクトに参画いただけるマンションを公募いたします。

1 プロジェクトの概要

(1) 設置の為のスキームの検証

分譲済みマンションに充電器を設置する場合、最大の課題は、どのようにして管理組合が設置に関する区分所有者の合意形成を構築するかという点にあります。現在、管理組合は、仮に区分所有者が充電器設置を希望された場合、もしくは管理組合自らが検討する場合においても、①どのような視点で課題を捉え、②どのような課題を、③どのように解決するかスキームを持ちえていません。日産と大京は、このスキームを共同で検討して参りました。今回、大京グループのマンション管理会社である株式会社大京アステージ(本社:東京都渋谷区千駄ヶ谷 社長:益田 知)と共に、実際の物件で実証致します。

(2) 充電器の利便性の検証

日産が提供するEVおよび充電器を実際に一定期間ご利用頂き、マンションにおける運用上の課題とその解決策を実証致します。

2 公募内容詳細

実証するマンションについては、対象地域を神奈川県横浜市内とし、大京アステージが管理受託するマンションを対象に、日産、大京および大京アステージの連名で、各管理組合に実証プロジェクトへの参画を呼びかけ、ご参加頂く計画です。

応募～実証完了までのスケジュール(案)は別紙の通りとなります。

3 本プロジェクトを進める意義

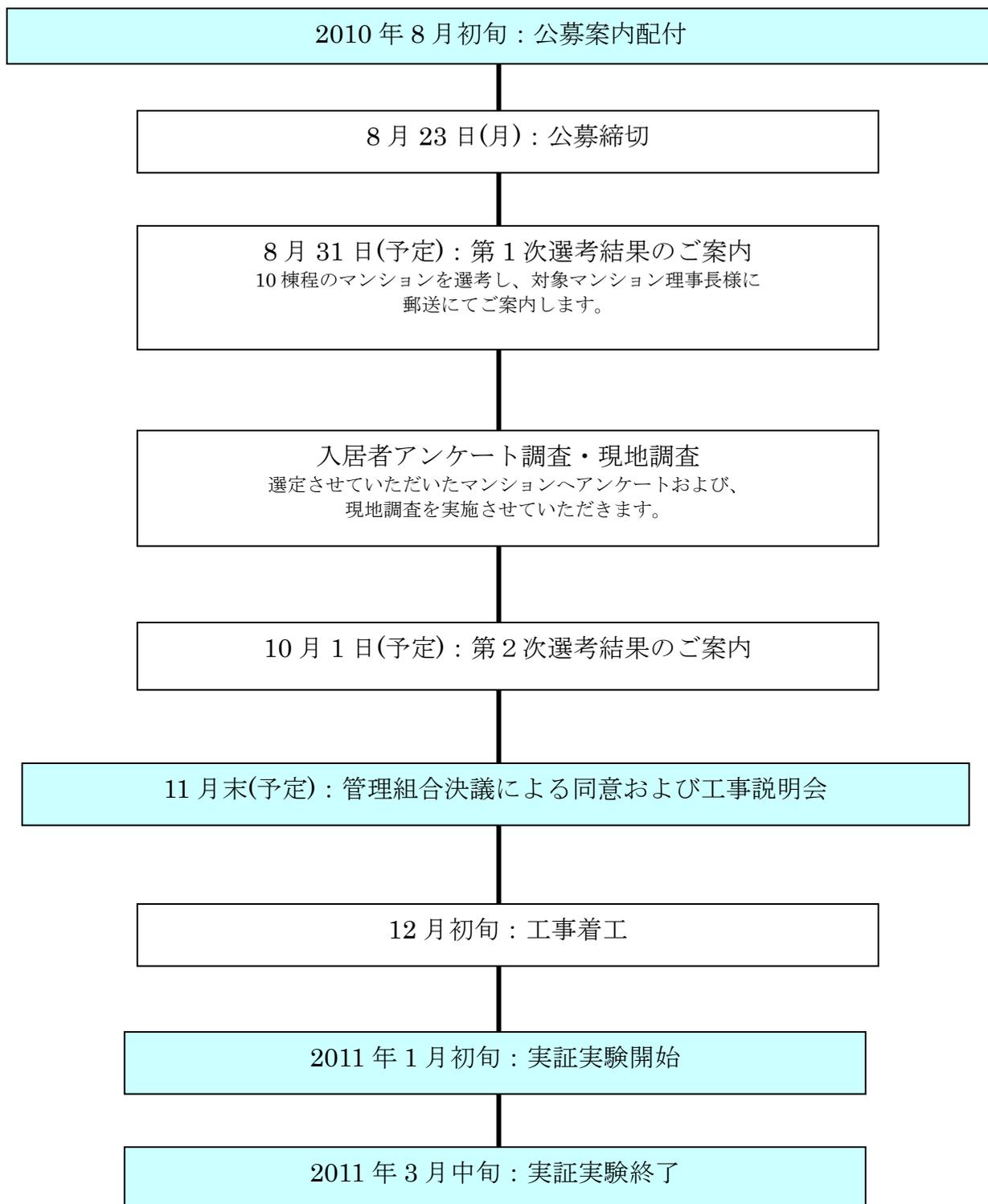
- (1)日産は、ゼロ・エミッション車でリーダーになることを目標に掲げています。この理念から、低炭素化社会の早期実現を目指し、住居形態や駐車場形態を問わず、全てのお客さまにEVをお届けしたいとの思いから、今回この実証実験を企画いたしました。
- (2)大京は、環境配慮型マンションの推進、将来的なマンション居住者の利便性向上、EVの普及を促進するため、既に2010年4月以降着工するライオンズマンション・シリーズにおいて、各物件の全駐車場区画の10%程度に充電インフラを設置する方針を掲げております。今回の実証実験を通して、マンションにおける充電インフラ設置を更に加速し、低炭素社会の早期実現に貢献します。

以 上

【問い合わせ先】

日産自動車株式会社	国内企業広報部	TEL:045-523-5521
株式会社大京	グループ広報部	TEL:03-3475-3802

「実証実験予定スケジュール」



*実証終了後、管理組合からのご要望により設置させていただいた充電設備を残すことも可能です。